

料金別納郵便



みかわち焼 平戸松山窯 三代展

追悼 中里勝歳・十六代 中里月度務・中里彰志

令和7年1月15日(水)~20日(月) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時(最終日20日は午後5時まで)

作家在廊日：中里月度務 1月15日(水)~17日(金)

中里彰志 1月18日(土)~20日(月)

十五代 平戸松山

中里勝歳

Nakazato Katsutoshi

昭和17年 佐世保市三川内町に生まれる
昭和46年 天皇陛下献上品の依頼を受け平戸唐子図花瓶を制作納入
昭和59年 通商産業大臣指定、伝統工芸士の認定を受ける
平成30年 長崎県無形文化財に認定(三川内焼平戸染付技術)
令和6年 鬼籍に入る

十六代 平戸松山

中里月度務

Nakazato Tsutomu

昭和42年 中里勝歳の長男として三川内町に生まれる
昭和63年 有田窯業大学校卒業、陶香堂 吉岡速雄氏に師事
平成3年 平戸染付を父 平戸松山に師事
磁器轆轤成形を上野光久氏に師事
平成25年 経済産業大臣指定、伝統工芸士の認定を受ける

中里彰志

Nakazato Akishi

平成9年 中里月度務の長男として三川内町に生まれる
平成28年 有田工業高校デザイン科卒業後、
メイド・イン・ジャパン・プロジェクト(株)に入社
令和2年 祖父 勝歳、父 月度務に師事

みかわち焼の染付は澄んだ白磁に丹念に描かれた濃淡の青が美しい。彰志さんはその染付の世界に彩りを加える仕事をする。上絵ではなく下絵であるところは伝統であり、青と朱色のバランスを探るチャレンジは好ましい。十六代を継がれた月度務さんは、「余白も文様」という人の言葉をやんわり受け流し、ひたすら器面を染付で埋めていく。でも近頃は違う仕事の展開も思い描いているらしい。ぎゅぎゅ描きこまれた青海波はそろそろ見納めなのか、それともさらに発展するのか？ 勝歳さんはご自身の筆で生み出した福々しい唐子たちに囲まれて、そんな二人をにこやかに見守られているに違いない。

森由美(陶磁研究家)

柿谷ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com

公式Instagram



